

製品名: フォルミン 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11068**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	FMN2
別名	FMN2; Formin-2
遺伝子 ID	56776.0
SwissProt ID	Q9NZ56
免疫原	抗血清はヒト FMN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1541-1590

背景

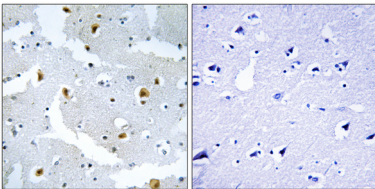
この遺伝子は、フォルミンホモロジータンパク質ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は、アクチン細胞骨格の組織化と細胞極性において重要な役割を果たすと考えられています。この遺伝子の変異は、精神遅滞常染色体劣性遺伝性

47 (MRT47) と関連付けられています。選択的スプライシングによる転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2015年3月],PTM: DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。,配列注意: 汚染配列。C 末端部に由来不明の配列が含まれています。,類似性: フォルミンホモロジーファミリーに属します。カプチーノサブファミリー。,類似性: FH1 (フォルミンホモロジー 1) ドメインを 1 つ含みます。,類似性: FH2 (フォルミンホモロジー 2) ドメインを 1 つ含みます。,組織特異性: 発達期および成熟期の中枢神経系でほぼ独占的に発現します。,

研究分野

背腹軸の形成;

画像データ



FMN2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。